

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成27年3月5日(2015.3.5)

【公表番号】特表2012-530146(P2012-530146A)

【公表日】平成24年11月29日(2012.11.29)

【年通号数】公開・登録公報2012-050

【出願番号】特願2012-516271(P2012-516271)

【国際特許分類】

A 6 1 K 39/155 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/04 (2006.01)

A 6 1 P 11/00 (2006.01)

A 6 1 K 9/107 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 39/155

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 37/04

A 6 1 P 11/00

A 6 1 K 9/107

【誤訳訂正書】

【提出日】平成27年1月15日(2015.1.15)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ナノエマルションによって不活性化された呼吸器合胞体ウイルス(RSV)を含んでいる、免疫原性組成物。

【請求項2】

上記RSVを不活性化するために使用される上記ナノエマルションは、水相、油相および溶媒を含んでいる、請求項1に記載の免疫原性組成物。

【請求項3】

上記RSVを不活性化するために使用される上記ナノエマルションは、ポリソルベート界面活性剤、エタノール、塩化セチルピリジニウム(CPC)、オイルおよび水を含んでいる、請求項1に記載の免疫原性組成物。

【請求項4】

1.0%～10%、5%～15%、10%～20%、20%～30%、30%～40%  
、40%～50%または50%～60%のナノエマルションの溶液を含んでいる、請求項1に記載の免疫原性組成物。

【請求項5】

10～10<sup>10</sup>のプラーケ形成ユニット(PFU)の不活性化された呼吸器合胞体ウイルスを含んでいる、請求項1に記載の免疫原性組成物。

【請求項6】

10<sup>2</sup>、10<sup>3</sup>、10<sup>4</sup>、10<sup>5</sup>、10<sup>6</sup>、10<sup>7</sup>、10<sup>8</sup>または10<sup>9</sup>のプラーケ形成ユニット(PFU)の不活性化された呼吸器合胞体ウイルスを含んでいる、請求項1に記載の免疫原性組成物。

**【請求項 7】**

熱安定性である、請求項 1 に記載の免疫原性組成物。

**【請求項 8】**

薬学的に受容可能な担体をさらに含んでいる、請求項 1 に記載の免疫原性組成物。

**【請求項 9】**

免疫賦活剤をさらに含んでいる、請求項 1 に記載の免疫原性組成物。

**【請求項 10】**

上記免疫賦活剤が T h 1 型の免疫応答に進ませる、請求項 9 に記載の免疫原性組成物。

**【請求項 11】**

請求項 1 ~ 10 のいずれか 1 項に記載の免疫原性組成物を含んでいる、呼吸器合胞体ウイルス（ R S V ）感染を処置または予防するためのワクチン。

**【請求項 12】**

呼吸器合胞体ウイルス（ R S V ）感染を処置または予防するためのワクチンを製造する方法であって、

R S V を準備すること、およびナノエマルションと混合することによって当該 R S V を不活性化することを包含している、方法。

**【請求項 13】**

呼吸器合胞体ウイルス（ R S V ）感染を処置または予防するためのワクチンの製造における、請求項 1 ~ 10 のいずれか 1 項に記載の免疫原性組成物の、使用。